



一般社団法人

日本ヘルスケア歯科学会

事務局 東京都文京区関口1-45-15-104

Tel. 03-5227-3716

Fax. 03-3260-4906

URL <http://www.healthcare.gr.jp>E-mail: [center@healthcare.gr.jp](mailto:center@healthcare.gr.jp)

編集代表 林 浩司

編集制作 有限会社 秋 編集事務所

学会入会金 歯科医師 5,000円

その他 3,000円

学会年会費 歯科医師 12,000円

その他 3,000円

郵便振替口座 00190-7-407895

名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会

銀行振込口座 三菱UFJ銀行 江戸川橋支店

普 0051809

名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会

## CONTENTS

巻頭 2021年のヘルスケアミーティングに向けて	p.1	永年会員表彰	p.13
お詫びと訂正	p.2	事務局から	p.13
セミナー紹介	p.3	譲ります。差し上げます	p.13, p.23
ウィステリア Pro とアポイント管理職を使ってみよう IV	p.4	Healthcare bibliography / ウェビナー告知板	p.14
ウィステリアのタッチパネル入力環境ご提案 1	p.7	第6期オピニオンメンバーの信任投票結果	p.15
SNS 情報発信中	p.7	ウェビナー開催報告	p.16
ヘルスケアミーティング 2020 報告 2	p.8	認定歯科衛生士 更新ポイントについて	p.22
第6期 コア・オピニオンメンバーってどんなメンバーなの?	p.10	認証ミーティング 案内	p.23
日本ヘルスケア歯科学会 事務局 拝見	p.12	ヘルスケアミーティング 2021 案内	p.24

## 催しものご案内

## ① ヘルスケア Web セミナー

日時: 2021年3月3日(水)

内容: 2021 カリエスマネジメントセミナー  
第1回

## ② ヘルスケア Web セミナー

日時: 2021年3月24日(水)

内容: 「抜歯を無くそう! そのためには  
まず歯髄保存だよね」AIPCの基礎と  
臨床 part2 基礎編

## ③ ヘルスケア Web セミナー

日時: 2021年3月31日(水)

内容: 禁煙支援セミナー

## ④ ヘルスケア Web セミナー

日時: 2021年4月7日(水)

内容: 2021 カリエスマネジメントセミナー  
第2回

## ⑤ 第17回認証ミーティング

日時: 2021年4月11日(日)

場所: 千里ライフサイエンスセンター  
& Zoom

## 重要なご案内

● 以下の同封物をご確認ください

## 1. 2021年度ステッカー

2021年度会費納入済みの方に同封して  
います。

## 2. 2021年度会費振込用紙

2021年度会費未納の方に同封していま  
す。お近くの郵便局からお早めにお振り  
込みくださいますようお願い申し上げま  
す(行き違いになりましたらご容赦くだ  
さい)。

## 2021年のヘルスケアミーティングに向けて

杉山精一 (日本ヘルスケア歯科学会 代表)

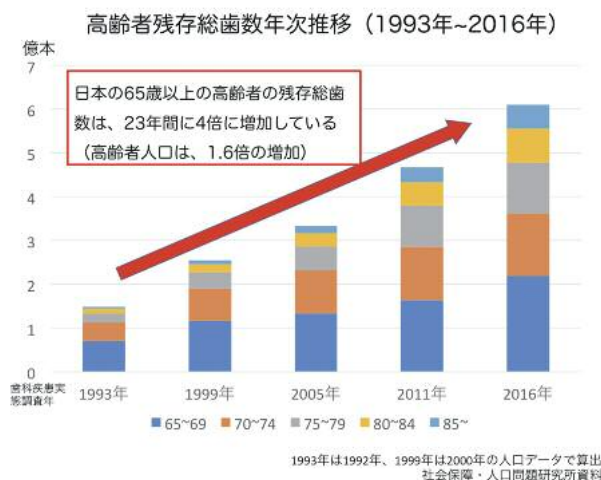
新年を迎えると同時に緊急事態宣言が発出され、初詣や新年会の開催も見合わせるという大変な事態になりました。ワクチン接種も始まりますが、今年がどのような1年になるかまったく予想ができない情勢です。皆さんは、感染対策と医院の経営に大変な気を遣いながら日々の臨床に取り組んでいることと思います。そのようななかで、コアメンバーを中心に、私たちの学会の今年の方針を協議してきました。学会をより活発にしていくために、オピニオンメンバーは、委員会、プロジェクト、フォーラムといった会の運営活動グループに所属し、メーリングリストやZoom meetingを利用して活動していく新たな方針が決まりました。この点については、2月28日に開催するオピニオンメンバー会議で丸山和

久さんから説明していただきます。オピニオンメンバーでない会員の方々も、興味のあるグループができましたら、気軽に声をかけていただければと考えています。このような活動を通じて、経験のある世代から新しい世代へとヘルスケアの理念が伝わっていくことも期待したいと思っています。

会の一番大きな事業のヘルスケアミーティングは、先行き不透明な状況から、10月10日(日)の一日のみの開催とし、会場は昨年と同じ東京両国のKFCホールに約100名程度の参加とZoomウェビナー(YouTube配信あり)を併用するハイブリッド方式で開催が決定しました。テーマは「ヘルスケアチームで取り組む 人生100年時代のリエスマネジメン

ト」です。ICDAS を取り入れたカリエスマネジメント「ICCMS」について、今までにも登壇していただいている大阪大学の林美加子教授に講演いただきます。カリエスリスクアセスメントについては、この分野で多数の論文を発表しているコペンハーゲン大学の Svante Twetman 名誉教授に講演いただくことが決まりました。私が Twetman 先生の講演を初めて聞いたのは、2013 年にソウルで開催された国際小児歯科学会（IAPD）の Keynote Lecture で「Control the biofilm stress!」という 45 分間の講演でした。とてもシンプルなスライドで、難しい事柄をわかりやすく解説していて、そのときの講演内容は、その後の私のプレゼンで必ず使うスライドとなりました。その後、ORCA でも短時間の講演でしたが聞く機会があり、また、カリエスリスクについての論文は CRASP を作成するときに参考となる内容で、いつかは来日していただいて講演していただきたいと考えていた先生です。今回、直接メールでお願いしたところ、オンラインでの講演を快く引き受けていただくことができました。これから、Zoom meeting を活用して、事前に私たちが開発した CRASP についても理解していただき、カリエスリスクアセスメントの変遷と最新の考え方について講演していただく予定ですので、どうかご期待ください。

ヘルスケアミーティングのタイトルには「人生 100 年時代」という言葉を入れました。これは、ともするとカリエスは小児若年者の問題としてとらえられる傾向があるため、カリエスマネジメントは生涯にわたる課題であるということ意識したものです。おそらく皆さんの診療室でも高齢者で多数の歯が残存している方が多く来院するようになってきていると思います。そこで具体的に日本全体の高齢者の残存歯数の変化を調べてみました。計算する根拠とした資料は、歯科疾患実態調査と社会保障・人口問題研究所の人口データです。歯科疾患実態調査から、調査年の年代別残存歯数がわかり、人口データからは年代別人口がわかりますので、これらをエクセルに入れて計算すれば、簡単に算出できます。その結果をグラフにまとめたのが、図です。



1993年から2016年までの23年間に65歳以上の高齢者人口は約1.6倍増加したのに対して、日本全体の残存歯数は、実に4倍に増加していることがわかりました。この残存歯数の増加はたいへん大きな出来事、つまり「高齢者＝多数歯欠損の時代」から「高齢者＝多数歯残存の時代」に変わったことを意味していると思います。これは、私たち歯科関係者にとってたいへん嬉しいことですが、一方、高齢者の多数の歯をどのようにマネジメントしていくかという大きな課題でもあります。多くの高齢者の口腔内には様々な年数を経たいろいろな補綴修復と欠損補綴が混在しています。日々の臨床では、これらがいろいろな問題を引き起こします。とくに、高齢まで残存している歯は、補綴修復とう蝕によって、歯冠や歯根の破折や二次う蝕が引き起こされるため、あらためて小児若年期の補綴修復を減らすことの重要性が浮きあがってきます。また、現実には、高齢者の現在ある歯をどのようにしてマネジメントしていくかも大きな課題です。このようにカリエスマネジメントは、小児若年期だけの問題ではなく生涯にわたる問題であるということ認識して、どのような取り組みをしていくかを解明できるヘルスケアミーティングにできればと考えています。



## 訂正とお詫び

日本ヘルスケア歯科学会誌（第21巻第1号）の訂正とお詫び  
本誌に以下の誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

●12 ページ右段の著者の住所の訂正  
(正) 千葉市美浜区磯辺 2-2-6

2-2-6, Isobe, Mihama-ku, Chiba 276-0027, JAPAN

●21 ページ右段 12 行目  
(誤) 抗原検査 → (正) 抗体検査

セミナー  
紹介

## 2021年は「カリエスマネジメント」の年！



林 浩司（真岡市開業）

杉山精一代表の「カリエスマネジメントセミナー」は第1回が昨年7月から始まり、今年1月の第7回をもちまして終了となりました。そして、今年3月から新たに月1回「カリエスマネジメントセミナー7回コース」が始まります。

ところで当学会の重要な活動の一つに、切削修復をもってう蝕治療とした時代から、う窩をつくらないカリエスコントロールを提唱してきてことがあります。設立当時は「サリバテストを行いカリエスフリーを達成しよう」というように、特定細菌原因説に則ってカリエスリスク検査を重視し患者の個別リスクを診断することに過大な期待を寄せていましたが、予防ケアの経験を重ね、臨床データを振り返るなかで、その初期の姿から脱皮し、徐々にカリエスマネジメントを確立してきました。それは、患者固有のリスク因子を見えるかたちにして患者と共有し生活習慣の改善を動機づけるカリエスマネジメントです。私たちの先進的な努力もあって、う蝕症の保険診療の仕組みが重症化予防に舵を切ったことに伴い、保険との整合性を保つことも大切なことでした。

この新たな「カリエスマネジメント」を詳しく勉強するには、2021年の7回コースを受講していただくのがベストです。「カリエスマネジメント」の目的、そして臨床の場でどのように活用していくのか、実際の症例による成果や研究結果を重視した講演です。また、そこには最新のう蝕病因論、規格性のある記録やそれを振り返ることから得られる学び、チーム医療の重要性、患者との情報共有など「ヘルスケア歯科診療」にとって欠かすことができない多くのキーワードが出てきます。

そしてICDASやCRASPの導入や活用法も大いに参考になり

ます。ややもすれば、ICDASやCRASPを導入すれば「カリエスマネジメント」ができると思いがちですが、ICDASやCRASPは「カリエスマネジメント」の一つのツールということがわかります。これも7回のコースを受講してみても納得であることであり、ICDASやCRASPを知るだけでは「木を見て森を見ず」なのです。

そしてもう一つ重要なことですが、この7回コースは院長・歯科医師だけではなくスタッフ全員で聴講すべきだということです。「カリエスマネジメント」は院長がトップダウンで進めるものではなく、チーム医療で行わなくて絶対に成功しません。

このWebセミナーは、各回終了後1ヵ月のYouTubeによるアーカイブ配信（正会員特典）があり、いつでもどこでも視聴することができます。ということは、平日の夜に視聴できなくてもその後1ヵ月の間、スタッフが自宅で自習することもできますし、診療時間でも休憩中や診療後でも、院内スタッフ全員で受講することもできるのです。

また、書籍でも勉強したいと思っている方は、ザ・クインテッセンスの2021年1月号「カリエスマネジメントの目指すところとは？」から始まる1年間の連載記事をお読みください。こちらにも「カリエスマネジメント」についての詳細な内容と多くの臨床写真、引用した参考文献などの勉強ができます。

2021年は「カリエスマネジメントセミナー7回コース」、ザ・クインテッセンス2021年連載による新たな「カリエスマネジメント」の年になりそうです。会員のみなさんもぜひこの機会に勉強してみませんか？



### □ 2021年 カリエスマネジメントセミナー日程（時間：各回 20:30～21:30）

- 第1回 3月 3日（水） カリエスマネジメントの基本 ICDAS と XR をマスターしよう
- 第2回 4月 7日（水） 新しいカリエスリスクアセスメント「CRASP」をマスターしよう
- 第3回 5月 12日（水） カリエスマネジメントとは？ 目指すところは？
- 第4回 6月 2日（水） 臨床に必要なフッ化物の知識
- 第5回 7月 21日（水） 咬合面に対するカリエスマネジメント
- 第6回 8月 18日（水） 隣接面に対するカリエスマネジメント Icon も解説
- 第7回 9月 8日（水） 前歯・MIH・根面う蝕

### □ Clinical Caries Management ザ・クインテッセンス 連載目次（予定）

- 第1回 カリエスリスクマネジメントの目指すところとは？
- 第2回 カリエスマネジメントの成果
- 第3回 カリエスマネジメントの実際 ①
- 第4回 カリエスマネジメントの実際 ②
- 第5回 カリエスマネジメントに必要なフッ化物の知識
- 第6回 非切削う蝕治療 ①
- 第7回 非切削う蝕治療 ②
- 第8回 非切削う蝕治療 ③
- 第9回 MIH (Molar Incisor Hypomineralization)
- 第10回 10年以上の長期症例 ①
- 第11回 10年以上の長期症例 ②
- 第12回 根面う蝕

# ウステリア Pro とアポイント管理職を 使ってみよう! (その1)



藤木省三 (神戸市開業)

## 1) ウステリアの歴史から

### ウステリア以前

日本ヘルスケア歯科研究会が発足する前の1990年ごろに熊谷 崇さんの依頼で Macintosh と Claris 社の FileMaker II を用いてデータベースのテンプレートを作りました。当時の活用法は、リコール管理、歯周病の重症度別等の分析、患者情報の歯科医師とスタッフの共有などを目指しました (図 1)。

### ウステリア Ver1

日本ヘルスケア歯科研究会が設立され、「ウステリア」と名前がつけました。Ver.1では、サリバテストの結果をレーダーチャートで表示ができるようになりました。FileMaker がまだリレーション機能がなかったために DMFT や歯周組織検査の最新のデータを書き換えなければならない欠点はありませんでしたが、20年前から臨床結果を検証できるシステムができあがりました (図 2)。

### ウステリア Ver.2

日本ヘルスケア歯科研究会設立当時は口腔内写真はスライドで撮影していましたが、2000年頃にデジタル一眼レフが開発され口腔内写真もデジタル化が始まりました。岡 賢二さんの「撮影した口腔内写真が死んでいる」という一言がきっかけで、ウステリアでも有限会社ファクトリーのプラグインソフト (Factory's FileMaker Plug-in) を用いて、口腔内写真を管理できるようにしました。

開発時には単に口腔内写真を表示するだけでなく、時間軸で患者の情報を瞬時に見ることができるところを目標とし、初診時と再評価、初診時と最新などの2回の表示、同一部位4回分の表示が簡単にできるようになりました。これによって、デジタル化された口腔内写真が臨床で生かされるようになりました (図 3)。



図 7 分類を入力している画面 (大西歯科)。分類など多項目のものは、メニューから選択することで入力できる

図 8 プロローピングの画面 (大西歯科)。プロローピングの深さが4~5mmは赤、7mm以上は黄色で表示する



図 9 リコールの注意事項と次回来院日の画面 (大西歯科)。リコール期間や注意事項を入力する



図 10 1996年10月のリコール患者のリストの画面 (大西歯科)

図 1

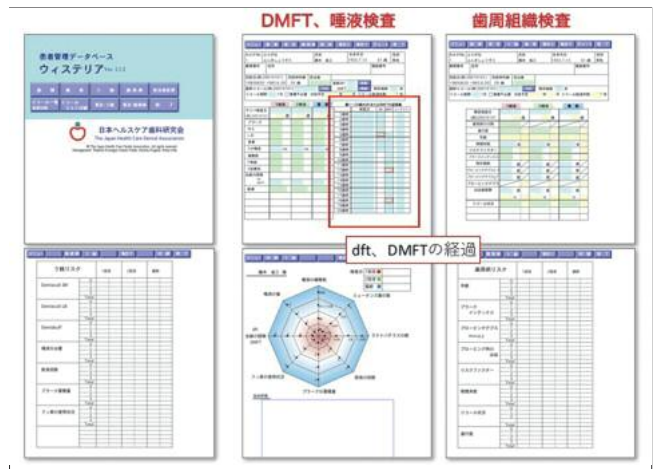


図 2 ウステリア Ver.1

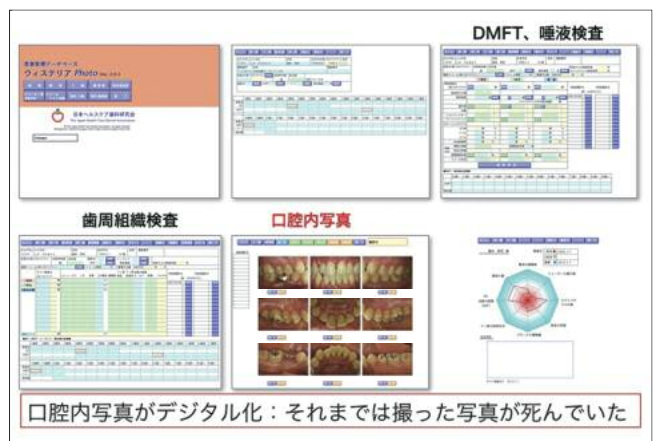


図 3 ウステリア Ver.2



図 4 ウィステリア Ver.3



図 5 アポイント管理職を中心に連携可能



図 6



図 7

### ウィステリア Ver.3

FileMaker がバージョンアップされリレーション機能がついたことで、歯周組織検査などの資料が無制限に保存できるようになりました。歯周組織検査では、杉山歯科で使われていたファイルを PerioAssistant としてリレーションを組んでいます。新たに検索画面を作って、ワンクリックで検索できる機能を追加しました(図 4)。

基本画面には来院履歴が表示されるようになり、メンテナンスに来ているかどうか、その年のメンテナンス回数が一目でわかるようになりました。メンテナンスの状況を知るには必須の機能だと思います。

さらにアポイントソフトも開発し、アポイント管理職からワンクリックでう蝕や歯周病データ画面、口腔内写真表示画面を呼び出すことができました。これによって、口腔内写真を見るのがそれまでの数倍になり、ようやく口腔内写真がいつでもどこでも活用できる環境が整いました(図 5)。

### ウィステリア Ver.4 Ver.5

Ver.4 で口腔内写真を無制限に保存できるようになりましたが、口腔内写真表示に使っていたファクトリー社のプラグインソフトが開発中止になるという、ウィステリア最大の危機が訪れました。しかし、そのピンチを逆に生かして、Ver.5 ではプラグインソフトを使わずに写真表示できるようになりました(図 6)。

### ウィステリア Ver.6

Ver.5 で口腔内写真、う蝕と歯周病のデータ、メンテナンス管理の情報、アポイント情報など日常臨床のデータの多くが管理できるようになりました。しかし、リレーションするファイルを追加してきたことで DMFT や残存歯数を複数のファイルに別々に入力しなければならなくなるなど改善点もできました。

新しいことでは、カリエスリスクアセスメントの考え方も整理されてきて、CRASP を時間軸で入力、検証できる環境も必要とされています。

さらには、20 年前にはう蝕と歯周病が重要と思われていましたが、「人生 100 年時代」には口腔機能も重要となってきています。それだけではなく、社会のデジタル化が進みサブカルテもアナログからデジタルへ希望する声もあります。

このようなことを Ver.6 では解決をしていく予定です。

《FileMaker でソフト作り : 1》

FileMaker を使えると普段使う便利ツールも作れます。私は iPhone でスケジュール管理とメモを書くソフトを作っています。図 8 はスケジュール画面です。予定日と内容を書くだけのシンプルな画面ですが、終われば左上の緑のボタンをタップするとボタンの色が変わり下の方に隠れます。

図 9,10,11 はメモ画面です。図 10 の「Photo」の矢印をタップすると図 11 の画面になり、カメラアイコンをタップすると写真も取り込めます。

それから、FileMaker はデータベースソフトですが、フィールドやスクリプトを工夫するといろいろなことができます。今回入院中に時間がたっぷりあったので、双子の孫（現在小学校 2 年生）のためにゲームを作ってみることにしました。

第一回は、「むし歯たたきゲーム」です（図 12）。FileMakerGo をインストールした iPad で使うようにしています。「スタート」して、むし歯菌が居そうところをタップします。タップしたところの上下左右 3 つ以内なら「近い」、5 つ以内なら「ちょっと近い」と表示されます。6 回タップして一度も「近い」「ちょっと近い」がでなければゲームは終了します。

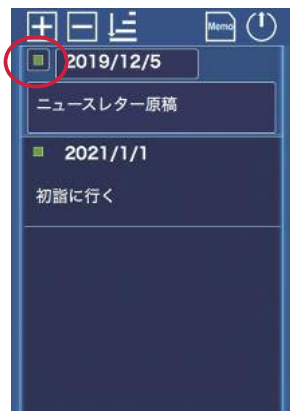


図 8-1 スケジュール

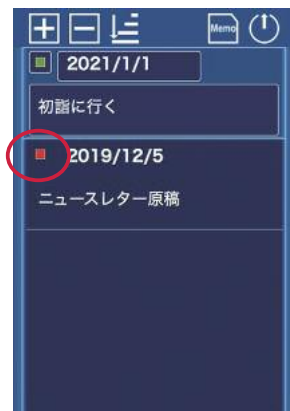


図 8-2 タップすると下へ移動

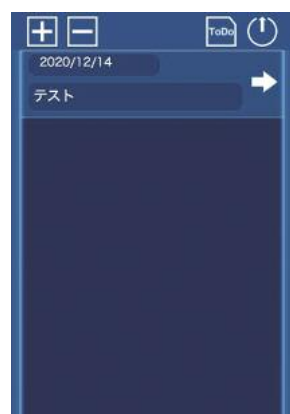


図 9 メモ画面



図 10



図 11 カメラを起動

【近況のご報告】

私の病気のことで、皆様にご迷惑とご心配をおかけしています。昨年の 6 月に胃がんが見つかり、一旦化学療法で縮小させてから 10 月初めに胃の摘出手術を受け、今は再発予防のための化学療法を受けています。年末に受けた CT 検査でも再発や転移の兆候はなく、今は診療もほぼ以前のようにできるようになりました。まだ体調が不安定なときもありますので、いましばらくお休みさせていただきますが、またお会いできる日を楽しみにしています。

病気のことを待合室に「お知らせ」として貼り出しているのですが、患者さんからたくさんの励ましの言葉をいただきました。病気をしたおかげで患者さんとの距離が近くなったような気がします。

また、検査・診察や入院中は留守番に大学を退官した義兄に来てもらったので、メンテナンスはほぼ通常どおりの診療ができました。長く勤めてくれているスタッフばかりなのでトラブルもなく、安心して自分の治療を受けることができました。また、入院日や診察日が変わるたびに何度も時間変更を繰り返した患者さんからのクレームも皆無で、ヘルスケアの理念は正しかったのだと改めて感じました。



図 12 むし歯をやっつけよう ゲーム



## ウイステリアの タッチパネル入力環境のご提案 1

森 一弘 (学会認定ウイステリアサポート  
技術者 アクセス代表)



どこの医院でも、スタッフの事務的な作業はできる限り省力化・効率化したいものです。その武器となるひとつがタブレット端末で、“iPad”や“Windows タブレット”は既に現場で活躍していることでしょう。

今年、新バージョンのウイステリア 6.0 がリリースされる予定ですが、標準装備される「CRASP」など、タブレット端末を使った方がよさそうです。状況に応じてデータ入力方法をキーボードやマウスと使い分けることも重要ですが、そこにタッチパネル入力に加わることで劇的に事務作業効率がアップした実例は多いです。新しい端末を追加するということは、もちろんその分の追加コスト（端末や無線環境整備費用など）がかかりますが、上手に使うことで、その費用対効果の恩恵は十分受けられることでしょう。今回は、この「タッチパネル入力環境」について、いくつかのご提案をしてみたいと思います。

### タッチパネルモニタの導入

タッチパネルモニタの接続イメージ図（図1）をご参照ください。単純なことです。今パソコンが既にあるとして、それにもう1台追加でタッチパネル式のモニタをつなぐことでセカンドモニタにタブレット端末と同じ機能を持たせることが可能



図1 タッチモニタの接続イメージ

です。1本か2本のケーブル接続の必要があり、そこはタブレット端末のような携帯性に欠けるところはありますが、タッチ入力の操作性はタブレット端末と同じと考えていいでしょう。ケーブル接続必須である点は、タブレット端末と比較した場合、最大の欠点といえますが、設置場所や固定器具の工夫である程度のカバーができると思います。タブレット端末は診療中常に携帯するわけではないでしょう。入力時はテーブルに置くなど固定した状態で使うと考えれば、タッチパネルモニタでも十分戦力になると思います。コスト面でもタブレット端末の5割〜7割安での導入も可能で、さらに、現在のネットワーク環境そのままでも、追加で無線LAN環境をつくる必要がないのは大きなメリットです。ウイステリアを少しでも安定して使うことを考えた場合、できる限り有線LAN環境で使うことが望ましいのです。また、ウイステリアを動かすためのFileMaker Proのライセンスについても、既に接続したパソコンにあるので、追加の必要はありません。

タッチパネルモニタは、MacでもWindowsでも、デスクトップ型でもノート型でも接続ができるので、よほど古い環境でなければ、今ウイステリアが動いている環境のどれにも当てはまり、今後新たな環境をつくる場合でも幅広く機器の選択が可能です。

タッチパネルモニタのサイズは10インチ前後ぐらいが使いやすいと思いますが、大きいものだと23インチ程度まで選択肢があります。

「タッチパネルモニタの有効性」ということで、昨年撮影したのですが、YouTube動画がありますので、よかったら参考までにご視聴ください。

Youtube 動画アドレス：

<https://youtu.be/asLS2FriUPo>



次回も引き続き、タッチパネル入力環境のご提案 第2弾として、また別のパターンをご紹介します。

### ☆アクセス

〒842-0033 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町豆田 2103-13  
TEL.0952-51-1776 ・ FAX.0952-51-1767 携帯090-1920-7894  
URL <https://www.access-dental.jp/>  
URL <http://www.access-pcdoc.jp>  
E-mail [kazu@access-pcdoc.com](mailto:kazu@access-pcdoc.com)



## SNSでも情報発信しています！

学会ホームページの更新情報(セミナー・イベント情報)を  
ほぼ随時発信中！  
医院のスタッフの方もどなたでも登録OK！



## ヘルスケアミーティング 2020 報告 その2

KFC Hall & Rooms (東京・両国) / Zoom

### ヘルスケアミーティング 2020 ハイブリッドで開催

オンラインでヘルスケアミーティング? どうやって懇親会するの? 3月のオピニオンメンバー会議を急遽オンラインで実施していましたので、コアメンバーのなかでは、冗談が出るほどに余裕がありました。4月初旬は、小規模のミーティングのリアル開催を念頭に、「もし秋になっても感染拡大が収まっていなければオンライン開催止むなし」という判断でした。緊急事態宣言がなされ、徐々に様々な学会が、開催中止になりました。夏場にいったん収まったようにみえたパンデミックも、秋口になって首都圏のPCR陽性者が増加の兆しをみせ、オンライン開催必至となりましたが、両国のKFC(国際ファッションセンター)貸会議室に小規模なメイン会場を設定し、それをオンラインで配信するハイブリッド形式での開催を決めました。代表杉山精一さんの個人的な主催というかたちで、学会の懇親会も十分な感染対策のうえ、リアルに実施することに決めました。

#### 小会場とオンラインのハイブリッドで開催

午前中のオピニオンメンバー会議はリモートで意見交換をすることが目的ですから、午後の講演会よりもオンラインの運営は難しくなります。事務局では早速、大阪大学の久保庭先生とオンラインテストの日程を調整、ビデオカメラ2台を利用した会場設営に必要な周辺機器を購入しテストするなど、オンライン開催の準備を始めました。

都内の1日あたりPCR陽性者数は、10月中は2桁で推移していましたが、11月17日について321人(東京都発表数)と

一気に300人を超えました。実は、この後急増し、年が明けて1000人を超えるのですが、22日当日は、首都圏のコアメンバーに加え、議長予定の齋藤健さんほか数名の歯科医師・歯科衛生士正会員が朝から両国の会場に集まり、検温、マイクのアルコール消毒とピリピリした雰囲気の中での開催となりました。

オピニオンメンバー会議については詳細な議事録が、ホームページ(<http://healthcare.gr.jp/?p=16001>)に公表されています。ご参照ください。

#### 侵襲性歯周炎がなくなった問題

午後のヘルスケアミーティング・特別シンポジウム「歯周病の新分類」は、関野 愉さん(日本歯科大学准教授)を会場に迎え、12時半から杉山精一代表の挨拶で始まりました。冒頭、杉山さんの基調講演では、「歯周病の新分類で、侵襲性歯周炎というカテゴリーがなくなったことに困惑している。今後、どのように考えて対応すればいいのか。歯周病研究の現状を整理して理解し、最新の研究成果を勉強したい」とこの日の趣旨が簡明に述べられました。

関野さんの講演は、ズバリそれに答えるものでした。「歯周病の国際分類から急速破壊性(侵襲型)歯周炎がなくなり、StageとGradeによる分類が適用されるようになっている。その背景には、現在までに積み重ねられてきた研究において、病

態生理学的に慢性歯周炎との間に違いがあると言える根拠が見出せなかったことが挙げられる。ただ、『違いがあると言える根拠がない』ことは『同じ』という意味ではない。侵襲性歯周炎と分類されてきた病態は、Grade Cの条件の一つ「バイオフィルムの沈着量から予測されるよりも重度な組織破壊」の部分に集約されている。このほか、ヨーロッパ歯周病学会(EFP)がまとめているポジションペーパーや新分類に対応した治療法のガイドラインについて解説され、臨床的に使いやすいという新分類の意義がはっきりとわかる内容でした。

参加者アンケートでは、参加の動機の多くが「歯周病の新分類について知りたかった」だったのですが、「新分類の臨床的意義がよく分かった」という意見が目立ちました。

難しかったが、興味深かったメタボローム解析によるバイオマーカー探し

二人目は、大阪からリモートでの久保庭雅恵さん（大阪大学歯学研究科准教授）の講演でしたが、そもそもこの講演は、歯周病の Stage と Grade によるクラス分けを提案した Tonetti の論文に記された「Grade を分けるバイオマーカーの〈?〉」\*を臨学共同で解明しようという久保庭さんと本学会の共同研究プロジェクトから始まっています。ここからが最新の生物学研究手法に関する解説ですので難題ですが、まずメタボローム解析の前提になるゲノミクス、プロテオミクスを含むオミクス研究について概説されました。

歯周病では、歯周組織と歯肉縁下細菌叢からなる歯肉縁下生物共同体において、疾患の重篤度の変化に伴って酵素活性の変動が起こっています。歯周病になると、その歯肉縁下生物共同体は特有の代謝物のパターンを示し、それが唾液や血液にも反映すると考えられます。そこで、その代謝産物を網羅的に探索する手法としてメタボローム解析を使います。この方法は、疾病の診断や重症度評価に直結するバイオマーカーを探索するうえで、現在望みうる最高の解析手法の一つだということです。

すでに久保庭さんらの研究チームは、唾液を試料としたメタボローム解析で、「歯周病患者のバイオフィーム中ではポリア

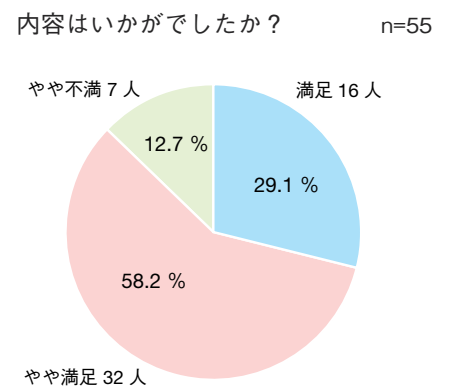
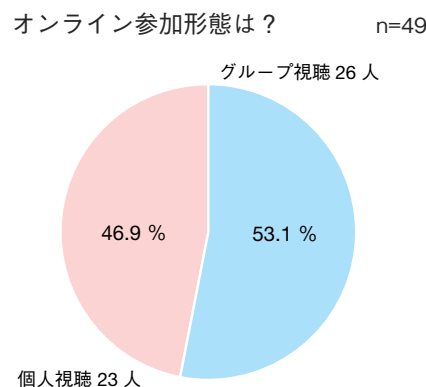
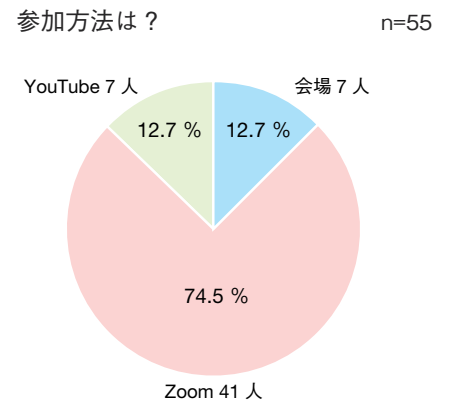
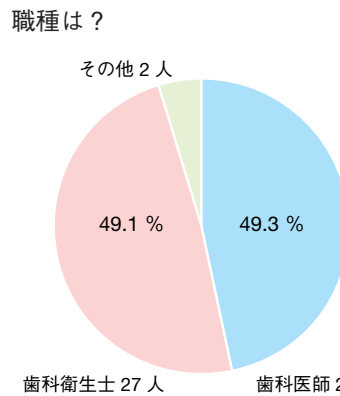
ミン代謝経路が活性化し、カダベリンやプトレッシンなど複数のポリアミン類が高頻度にバイオフィームから唾液中へと放出されている」という事実を見出し、高い評価を受けています。

講演では、さらに歯周病の進行に関わる因子に関する最新の知見を解説していただきました。

参加者アンケートでは、「カダベリンのお話しが興味深かったが、理解しきれなかった」のように「難しかった」という感想が少なくありませんでしたが、それとともに「リスクアセスメントに反映していける可能性を感じました」「将来的に患者さんのリスク診断に繋がるという内容が興味深かった」などなど、面白かった、興味深かったという感想も多く寄せられました。

\* Tonetti MS *et al.*: Staging and grading of periodontitis: Framework and proposal of a new classification and case definition, *J Periodontol.* 2018; 89: 159-172. Table 4

今回の会場参加は 20 名、オンライン参加申し込みは 70 名（会員歯科医師 54 名、会員その他 15 名、ほか）でしたが、参加者アンケートによれば、グループ（医院単位）での視聴が半数以上あり、YouTube での視聴も加えると例年のリアルな開催に近い視聴者がいたことが想像されました。（秋元秀俊）



## 第6期 コア・オピニオンメンバーってどんなメンバーなの？ コアメンバー・オピニオンメンバーってどんな役割をしているの？

日本ヘルスケア歯科学会定款第1章総則によると「第5条 当法人は、当法人の機関として社員総会および理事以外に理事会および監事を置く。当法人においてはそれぞれ、社員総会をオピニオンメンバー会議、理事をコアメンバー、理事会をコアメンバー会議と呼ぶ。」とあり、また第2章社員および会員によると「第7条 ……会員の選挙によって選ばれたオピニオンメンバーと呼ばれる代議員を持って……」と定義され、つまりオピニオンメンバーは本学会会員が、2年に一度行われている選挙によって選出された方々であり、国会と内閣の関係と同様に、そのオピニオンメンバーの互選によりコアメンバーが選出されます（定款は学会誌の巻末をご覧ください）。

しかし、本学会に入会したばかりの方やスタッフの方は、コアメンバー・オピニオンメンバーがどのような人たちなのかご存知ではない方もいらっしゃるかと思います。

そこで、本学会の執行部にあたるコアメンバー（理事）、そして本学会の活動に独自の意見をもって積極的に関わっていくことを期待するオピニオンメンバー（代議員）を、このコーナーでは紹介していきたいと思います。

昨年からの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、本学会の活動も変化しつつあります。フェイストゥフェイスで実際に集まってセミナーやミーティングのような活動ができない現状のなかで、オピニオンメンバーを中心にした活動に力を入れていく方針が確認されました。会誌編集委員会など既存の委員会のほかに、テーマを決めて活動するプロジェクトチームと、話し合いの場としてフォーラムを組織することになっています。ぜひ、会員の方々も参加してください（詳細は昨年のニュースレター vol.23 no.5 をご参照ください）。

現在、コアメンバーは11名（第5期）、オピニオンメンバーは70名を超える方々が在籍していますが、コロナ禍のなか、しばらくオンラインでしかお会いできないかもしれません。この度の第6期コアメンバー・オピニオンメンバーを連載にて順次（順不同）紹介していきたいと思います。

今回は第6期に新任されたオピニオンメンバー8名を紹介します。

（林 浩司）

### 【自己紹介凡例】

- ① 氏名 開業（勤務）地及び名称
- ② 出身学校（卒業年）、最終学歴等、当学会以外の所属学会、他役職
- ③ 当学会入会のきっかけ、関わり
- ④ 会員へ一言



- すぎやま しゅうへい
- ① 杉山 修平 千葉県八千代市勤務 杉山歯科医院
  - ② 東京歯科大学（2012年卒）日本歯周病学会
  - ③ 2013年杉山歯科医院に勤務した際に入会。東京ヘルスケアグループにも所属。2017/18年第二回実践セミナーを受講。関東実践セミナーのサポートメンバー
  - ④ 『代表の息子』というのが一番わかりやすい自己紹介でしょうか（笑）皆さんの経験談や臨床での工夫、新しい知見など、これからたくさん吸収したいと思っております。また少しでも皆さんのお役に立てるように精進して参ります。



- こうの ゆういちろう
- ① 河野 雄一郎 愛媛県鬼北町開業 きほくの里歯科医院 院長
  - ② 東京歯科大学（2003年卒）口腔外科学会、愛媛県歯科医師会北宇和支部理事
  - ③ ヘルスケアの存在も知らず開業し予防をやりたいと漠然と思ながらもどのようにしたら良いかわからず日々の診療してたところたまたま業者が持ってきたヘルスケア学会の四国支部（？）のITSのセミナーに参加しコアメンバーである高橋啓先生と出会い、藤木先生の道後温泉でのセミナー参加後、第2回実践塾に参加し現在認証診療所を目指しています（今年認証ミーティング参加）。去年よりWEBセミナー委員会委員および今年度よりITSの副会長。
  - ④ まだまだ未熟者ですがよろしく願います。ITS会員募集中です。ラグビー観戦を一緒にする方も絶賛募集中。



- ① 古市 貴暢 ふるいち たかみつ 香川県高松市開業 医療法人社団明恵会古市歯科医院 院長
- ② 長崎大学歯学部 (2001 年卒) 香川大学医学部博士課程 (2005 年修了) 日本歯科医師会, 日本口腔外科学会, 日本小児歯科学会, 日本臨床歯周病学会, アメリカ歯周病学会, 四国 ITS 代表
- ③ 我流の予防歯科で悩んでいたとき, 四国 ITS にて藤木さんの講演を聞いて感銘を受け, 2015 年日本ヘルスケア歯科学会入会, 第一回実践セミナー受講 2019 年認証診療所取得
- ④ のんびりスローペースをモットーに生きております. どうぞよろしくお願いいたします. 山登りが好きな方, ぜひ一緒に山登りをしましょう.



- ① 寺岡 徳光 てらおか のりみつ 愛媛県今治市勤務 医療法人こぐま小児歯科・歯科 勤務医 (常勤) 愛媛県四国中央市 医療法人坂田歯科医院 勤務医 (非常勤)
- ② 岡山大学歯学部 (2014 年卒) ITS (役員), K-wave (役員), 兵庫ヘルスケア, 日本顎咬合学会, 有床義歯学会, ITD など
- ③ 元々予防歯科を学ぼうという軽い気持ちで入会していましたが, 日頃の臨床や仕事そのものに対する疑問を抱えるなかで, たまたま参加した 2017 年の高松ワンデー. 会場の雰囲気になんとも圧倒されました. 現在は関連団体の役員, ヘルスケア歯科学会の WEB セミナー委員を拝命しています.
- ④ 将来ヘルスケア型での開業や継承を考える勤務医で, 勉強会を立ち上げました. 同じ志を持った仲間を募集中です. これから一歩踏み出していきたい方はぜひお声掛けください. ちなみに僕の名前は「のりみつ」です.



- ① 大手 有紀 おおて ゆき 東京都板橋区開業 板橋区志村坂上ゆき歯科医院 院長
- ② 明海大学歯学部 (2006 年卒) 日本補綴歯科学会, 日本顕微鏡歯科学会
- ③ 勤務医時代に予防歯科に興味を持ち 2018 年入会, 2019 年開業.
- ④ 若い世代の方々にヘルスケア型診療に興味を持ってもらうことを目標に SNS などでも積極的に発信していきたいと考えております.



- ① 島野 圭介 しまの けいすけ 東京都練馬区開業 島野デンタルオフィス 院長
- ② 東京歯科大学 (2002 年卒) 日本補綴歯科学会, 日本臨床歯周病学会, 東京ヘルスケアグループ, 寛容と連携の日本動機づけ面接学会
- ③ 勤務医だったときに, 会員の皆さんのお話を聞かせていただき, 自院を開業したら入会しようと考えていました.
- ④ 当学会で, とともに多くのことを学ばせていただききたいと思っております. よろしくお願いたします.



- ① 大塚 杏菜 おおつか あんな 兵庫県神戸市勤務 その歯科クリニック (2015 年開院オープニングスタッフ) チーフ
- ② 滋賀県立総合保健専門学校 歯科衛生学科 (2014 年卒)
- ③ 2015 年に日本ヘルスケア歯科学会と出会い, オープニングスタッフとしてヘルスケア認証歯科診療所になるための勉強を積み重ね 2019 年に日本ヘルスケア歯科学会に入会.
- ④ まだまだヘルスケアの中では新米ですが, オピニオンメンバーに選んでいただけたことをたいへん嬉しく思います. これから日本ヘルスケア歯科学会に貢献できるよう精一杯頑張りますので, ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします.



- ① 大手 一憲 おおて かずのり 東京都板橋区開業 板橋区志村坂上ゆき歯科医院 事務長
- ② 東北大学大学院工学研究科 (2008 年修了) 他学会への所属なし
- ③ 2019 年に現院長である妻がヘルスケア診療実現のために開業. 同年自身も入会.
- ④ 全国どこでも十分に質の高いヘルスケア診療が受けられる世の中を実現したいと考えています. そのためには学会活動の充実と母数の増加が必要で, いずれにしても会員数の増加が必須だと思えました. 前職がマーケティング職だったので, 少しでも知見を生かし目標に貢献できれば幸いです.

# 日本ヘルスケア歯科学会 事務局 拝見！



事務局の窓辺には、事務局長の趣味の草花で彩られています

日本ヘルスケア歯科学会は、正会員 1,200 名余りの比較的小規模な学会ですが、なんと自前の事務局をもっています。日本歯科保存学会や日本矯正歯科学会のような会員数千人の大規模学会でも事務局事務は学会事務を一手に引き受ける団体（一般財団法人口腔保健協会など）に依存しています。そのため、学会事務局は主に会計事務と学会開催広報、学会誌発送事務に留まるのが常ですが、本学会では、患者さんからの問合せに始まり、各種相談業務、企画頒布品の販売、年間 5 回のニュースレター発行、調査事業のサポート、ウイステリアのサポート、各種催し物の準備サポート、認定衛生士ポイント管理、認証歯科診療所更新管理、学会内通貨ヘルス管理、ホームページの頻繁な更新、各種 SNS による情報発信など、他の学会にない積極的な活動をしています。

その事務局は、前身の研究会発足時には、協力会社のモリムラをお願いしてスタートしましたが、その後、事務量が増えたため、すぐに設立理事の秋元が代表を務める有限会社秋編集事務所内に移転しました。陣容は、専任事務職員 1 名のほか非専任会計事務職 1 名で、必要に応じて秋編集事務所のスタッフが学会事務局から依頼された仕事を請けるかたちでサポートします。学者さんが中心の学会は、たくさんの教室員をただ働きの事務職員として使いますが、開業医の学会ではそうはいきませ

ん。開業医学会でありながら、どこよりも早く禁煙宣言を出し、歯科衛生士の業務範囲についての署名を集め、ガイドラインを出し、全国の市町村別 DMFT 地図をつくり、各種調査事業や頻繁なニュースレターの発行が可能なのです。この秋編集事務所と事務局との関係が、他の学会にない活動性の高さを支えています。反対に、会員主体の学会運営を損なっている面もあります（要注意）。

また会員の皆さんから見ると、事務局がやっているのか、秋編集事務所がやっているのか、区別が分かりにくいという問題も起きています。因みに、事務局（長）に依頼されて、秋編集事務所のスタッフが請けている業務には、次のものがあります。

ウイステリア開発関連、会誌編集、調査事業サポート、コアメンバー会議発出文書作成、ニュースレター編集・製作、各種証明書・印刷物製作、ホームページデザイン、会誌アブストラクト翻訳などです。事務局長自身は、コアメンバーですから、学会の仕事はすべてボランティアですが、専任事務職員の人件費、事務所経費などは（少ないながら）学会からいただいています。また、事務局が依頼（発注）し、秋編集事務所で請けているこの種の業務にはその都度費用が発生しています（そのため、秋編集事務所は常に利益相反にさらされています）。

以下、事務局員からひとこと。（事務局長：秋元 秀俊）

## 非専任事務職員：小林 ひろみ

主な業務は、入会会員登録・資料発送、ニュースレター発送の手配、会計事務（年会費・企画頒布品代金等の入金処理、費用の支払等）です

## 専任事務職員：菅原 睦子

主な業務は、入会案内から退会案内までのすべての受付窓口、頒布品の受注・販売・発注・在庫管理、ニュースレター発行の進行管理、各種催し物の黒子、ホームページの更新、セミナーの案内、Zoom の設定・動画編集、各種 SNS の中の人…等、全般です。

2020 年の 3 月から勤めておりますが、ちょうどコロナウイルス感染症が蔓延し始めたところで、思っていた仕事とは内容がだいぶ違うように感じます。秋元事務局長・小林さんはじめ、皆様に助けていただきながら日々勉強中です。皆様の活動がより良いものになるようサポートしていけたらと思っております。よろしく願いいたします。

よろしく願いいたします！



おながすいたね

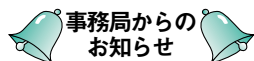
パンケーキ食べたい！



昨年11月のオピニオンメンバー会議により定款が改正され、「終身会員制度」の新設に併せて、新たに今年度から正会員歴20年以上かつ70歳以上の方を「永年会員」として表彰することとなりました。永きにわたり当学会の活動に貢献されたことに感謝し、学会として記念賞状と記念品をお送りいたします。初回は、2020年12月31日を基準日として70歳以上になられた方（別表）24名となります。これからも当学会の活動にご支援・ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。

会員 No.	氏名	生年月日	年齢	所属
98-0088	山中 康男	1940/01/23	80	山中歯科医院
98-0110	福嶋 佑二	1947/12/12	73	医) 福嶋歯科医院
98-0205	中谷 静子	1949/09/04	71	カーム歯科医院
98-0226	岡部 貢	1946/12/07	74	岡部歯科医院
98-0235	廣谷 勝	1944/12/01	76	広谷歯科医院
98-0354	金尾 好章	1949/12/17	71	医療法人 金尾好章歯科医院
98-0454	西村 吉行	1949/05/01	71	医療法人 西村歯科
98-0547	奥富 恵美子	1949/05/13	71	中央歯科クリニック
98-0588	斉藤 政一	1950/07/25	70	医療法人社団 政志会 サイトウ歯科
98-0700	鳥巢 晃一	1943/09/12	77	鳥巢歯科医院
98-0507	定政 規夫	1948/06/05	72	定政歯科
98-0965	鈴木 正臣	1937/11/01	83	医療法人 鈴木歯科医院
98-0982	廣瀬 久三	1949/03/31	71	医療法人 ひろせ矯正歯科
98-1015	浅野 賢一	1948/12/12	72	浅野歯科
98-1158	玉置 敬一	1943/03/12	77	玉置歯科医院
98-1223	高野 実	1950/09/06	70	高野歯科医院
98-1230	小澤 一友	1949/05/20	71	小澤歯科医院
99-0037	丸尾 哲	1947/04/24	73	丸尾歯科医院
M0-0113	倉松 常俊	1949/07/07	71	倉松歯科医院
M0-0170	稲澤 陽三	1947/09/02	73	稲澤歯科医院
M1-0079	安斎 隆	1950/07/05	70	安斎歯科
M1-0080	三宅 唯夫	1949/01/23	71	三宅歯科医院
M1-0132	杉 誠一郎	1948/06/04	72	杉歯科医院
M1-0226	中川 正男	1948/08/13	72	中川歯科医院

※この表は、2021年2月5日の会員登録情報を元に作成しています。生年月日が不明な方は掲載していません。また情報の間違いにお気づきの方は、事務局までお知らせください。



## ライトハンドルカバー 頒布中止のお知らせ

ライトハンドルカバーは2020年末にて在庫がなくなりましたので、頒布中止とさせていただきます。

今までご愛顧くださりましてありがとうございました。

## 学会誌（第21巻第1号）発送しました

1月20日に「日本ヘルスケア歯科学会誌」が発送になっております。届いていない方は、事務局までご連絡をお願いします。

## 譲ります／差し上げます


パンフレット「禁煙は愛」  
B5判 16ページ 日本医師会  
55冊



冊子「ごきげんな毎日」は  
歯科医院から始まる  
A5判 38ページ  
中央歯科クリニック院長 奥富史郎  
25冊



送料着払い  
お問い合わせは事務局まで



- カリエスマネジメントを、臨床的に解説する  
Clinical Caries Management  
第1回カリエスマネジメントの目指すところとは？  
杉山精一  
ザ・クインテッセンス1月号 p.152-163 クインテッセンス出版
- カリエスマネジメントを、臨床的に解説する  
Clinical Caries Management  
第2回カリエスマネジメントの成果  
杉山精一  
ザ・クインテッセンス2月号 p.148-161 クインテッセンス出版
- 予防の常識・非常識  
藤木省三  
nico1月号、2月号 p.60-61 クインテッセンス出版
- 「神経を取る」だけじゃないんです！  
ゼロからわかる歯の根の治療  
泉英之  
nico2月号 p.10-23 クインテッセンス出版
- 教えて！歯医者さんQ&A  
歯の根の治療のときに歯に被せるゴム、あれって何のため？  
泉英之  
nico2月号 p.50-51 クインテッセンス出版
- これなら聞ける！  
う蝕・酸蝕・歯周病の進行を防ぐ食習慣インタビュー  
[前編] う蝕のための確認事項&いやがられないコツ  
井上和  
歯科衛生士2月号 p.22-35 クインテッセンス出版
- 症例をシェアして、ステップアップ！  
DH誌上ケースプレゼンテーション  
適切なSRPの必要性とその効果が再認識できた重度歯周炎症例  
浪越歯科医院  
歯科衛生士2月号 p.81-87 クインテッセンス出版

- コンポジットレジンと審美修復  
長期メンテナンスに通う患者から学んだCR修復の適応症  
泉英之  
別冊ザ・クインテッセンス YEARBOOK2021  
CR修復の臨床最前線 p.152-163 クインテッセンス出版

- 患者さんの心に刺さる・伝わるひと言  
“あなたは歯周病です。磨き方を変えると治ります”  
井上和  
DHstyle1月号 p.20 デンタルダイヤモンド社

- 院内でスマートに身をこなす  
コミュニケーションのヒント⑤ 院長とのかかわり④  
“受け取り力”を高めよう  
年名淳  
DHstyle1月号 p.92-95 デンタルダイヤモンド社

- 院内でスマートに身をこなす  
コミュニケーションのヒント⑥ 同僚歯科衛生士とのかかわり①  
先輩編  
年名淳  
DHstyle2月号 p.76-79 デンタルダイヤモンド社

- Q&A 就寝前の牛乳はう蝕の原因になるか？  
杉山精一  
デンタルダイヤモンド2月号 p.114 デンタルダイヤモンド社


- この道30年 専門家が教える誠のスタッフ教育  
「さすがにそれは」という話  
井上和  
デンタルダイヤモンド2月号 p.172-173  
デンタルダイヤモンド社



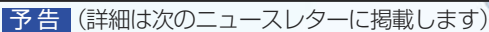
- ユーキャンの歯科助手お仕事マニュアル  
沼澤秀之、高見由紀恵：監修  
2020年12月 U-CAN




参加希望される方は学会ホームページよりお申し込みください。お申込み後、自動で申込完了メールが届きます。Zoom ミーティングの URL が記載されていますので、こちらからご参加ください。もしメールが届かない場合は、事務局までお問い合わせください。



- 23回 2021年3月3日(水) パネリスト：杉山精一  
2021 カリエスマネジメントセミナー 第1回【全7回】
- 24回 2021年3月24日(水) パネリスト：斉藤仁  
「抜歯を無くそう！そのためにはまずは歯髄温存だね。」  
AIPCの基礎と臨床 part 2 臨床編
- 25回 2021年3月31日(水) パネリスト：高木景子  
禁煙支援セミナー
- 26回 2021年4月7日(水) パネリスト：杉山精一  
2021 カリエスマネジメントセミナー 第2回【全7回】
- 27回 2021年4月28日(水) パネリスト：斉藤仁  
未定
- 28回 2021年5月12日(水) パネリスト：杉山精一  
2021 カリエスマネジメントセミナー 第3回【全7回】



- 「2021年ヘルスケアWeb ベーシックセミナー【3回コース】」  
6月から始動！  
デンタルダイヤモンド社から出版しております『なぜ、あの歯科  
医院はメンテナンス患者が増え続けるのか？』をテキストにヘル  
スケア歯科診療の基礎をより深めていきます。  
パネリスト：田中正大、杉山精一、中本知之、澤幡佳孝

※ウェビナーの参加費をヘルス通貨（日本ヘルスケア歯科学  
会内互助通貨）と交換にて後日返金することが可能です。  
申込は PayPal 支払いでの登録が必須となっておりますの  
で、申込後にヘルス通貨使用の旨を事務局にメールまたは  
FAXにてお知らせください。お持ちのヘルス通貨を確認  
後、返金手続きといたします（返金手数料は事務局負担）。  
1セミナー：5ヘルス



Web セミナー

## 報告 第6期オピニオンメンバーの信任投票結果

一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会 選挙管理委員会

定款8条の代議員選挙規定に基づき、第6期オピニオンメンバー（代議員＝法人の社員）の選出が行われました。

2020年12月末日をもって第5期の代議員（通称オピニオンメンバー）が任期満了となることに伴い、次期代議員の立候補者（自薦・他薦）を募り、併せて第5期のオピニオンメンバーに対して留任の意思を尋ね、これを合わせてオピニオンメンバー候補者名簿（不信任投票用紙）を作成し、2020年12月23日に全会員あてに送付しました。

2021年1月14日19時よりオンライン（Zoom ミーティング）にて、田中選挙管理委員長のほかコアメンバーの杉山、渡辺、および千草の立ち会いのもと、秋元事務局長が開票を行いました。今回は、返信は4通とわずかで、うち候補者名のいずれかの欄に1箇所以上不信任の「×」印のついた票は3枚でした。これにより田中委員長が候補者全員が信任されたことを確認し、第6期オピニオンメンバー82名が別表のとおり決定しました。



資格	会員 No.	勤務地	資格	会員 No.	勤務地
河野 正清	DR 留任 98-0041	東京都小平市	宮本 学	DR 留任 M5-0185	兵庫県神戸市
森谷 良行	DR 留任 98-0175	埼玉県坂戸市	羽山 勇	DR 留任 M5-0186	奈良県大和高田市
田中 正大	DR 留任 98-0291	埼玉県川口市	雨宮 博志	DR 留任 M6-0054	神奈川県秦野市
藤木 省三	DR 留任 98-0296	兵庫県神戸市	小塚 一芳	DR 留任 M6-0061	長野県茅野市
国井 一好	DR 留任 98-0321	山形県山形市	長岡 守	DR 留任 M7-0032	長崎県大村市
秋元 秀俊	他 留任 98-0330	東京都文京区	若井 広明	DR 留任 M7-0088	東京都江東区
足本 敦	DR 留任 98-0500	鳥取県米子市	沼澤 秀之	DR 留任 M9-0032	東京都小金井市
千草 隆治	DR 留任 98-0538	福岡県北九州市	落合 真理子	DH 留任 N0-0024	兵庫県尼崎市
高木 景子	DR 留任 98-0571	兵庫県神戸市	樽味 寿	DR 留任 N1-0010	兵庫県宝塚市
竹下 哲	DR 留任 98-0594	広島県広島市	中本 知之	DR 留任 N1-0032	兵庫県神戸市
加藤 徹	DR 留任 98-0662	山形県東根市	田中 勝幸	DR 留任 N1-0038	神奈川県川崎市
杉山 精一	DR 留任 98-0670	千葉県八千代市	志摩 裕美	DH 留任 N2-0018	大阪府岸和田市
近藤 明德	DR 留任 98-0713	兵庫県神戸市	阿部 敬典	DR 留任 N2-0021	徳島県徳島市
宇田川 義朗	DR 留任 98-0815	東京都江戸川区	杉山 修平	DR 新任 N2-0034	千葉県八千代市
浪越 建男	DR 留任 98-0819	香川県三豊市	澤幡 佳孝	DR 留任 N2-0038	熊本県熊本市
大井 孝友	DR 留任 98-0826	大阪府岸和田市	大立 美佳	DH 留任 N3-0012	東京都日野市
藤本 淳	DR 留任 98-0830	岩手県盛岡市	林 由加里	DH 留任 N3-0014	大阪府大阪市
渡辺 勝	DR 留任 98-0850	埼玉県春日部市	丸山 俊正	DR 留任 N3-0022	福岡県福岡市
岡本 昌樹	DR 留任 98-0863	栃木県栃木市	大本 幸加	DH 留任 N3-0040	兵庫県神戸市
鈴木 正臣	DR 留任 98-0965	埼玉県蓮田市	枅富 健二	DR 留任 N3-0063	徳島県板野郡
武内 義晴	DR 留任 98-1138	東京都日野市	濱田 麻里	DH 留任 N4-0013	大阪府大阪市
岡 恒雄	DR 留任 98-1192	岡山県倉敷市	山本 修平	DR 留任 N4-0025	兵庫県神戸市
木村 慎一	DR 留任 98-1212	福岡県福岡市	河野 雄一郎	DR 新任 N4-0030	愛媛県北宇和郡
寺田 昌平	DR 留任 99-0117	兵庫県姫路市	堀坂 寧介	DR 留任 N4-0041	兵庫県神戸市
斉藤 仁	DR 留任 99-0186	北海道札幌市	杉山 麻里恵	DH 留任 N4-0060	千葉県八千代市
檜崎 慶二	DR 留任 99-0204	茨城県水戸市	古市 貴暢	DR 新任 N5-0188	香川県高松市
丸山 和久	DR 留任 M0-0106	兵庫県神戸市	曾野 偉錬	DR 留任 N5-0191	兵庫県神戸市
浅笠 尚人	DR 留任 M0-0164	高知県高知市	松尾 真千子	DR 留任 N5-0236	三重県鈴鹿市
齋藤 健	DR 留任 M1-0191	千葉県市川市	伊東 佑記	DR 留任 N5-0245	福岡県大野城市
中川 正男	DR 留任 M1-0226	大阪府大阪市	西村 誠	DR 留任 N6-0011	大阪府泉大津市
藤原 夏樹	DR 留任 M1-0269	広島県広島市	佐藤 裕	DR 留任 N6-0015	岩手県盛岡市
蓮見 愛	DH 留任 M3-0055	千葉県八千代市	奥山 洋実	DH 留任 N6-0061	東京都調布市
高橋 啓	DR 留任 M3-0090	愛媛県南宇和郡	安岡 大介	DR 留任 N6-0124	兵庫県加東市
安田 直美	DR 留任 M3-0144	千葉県松戸市	寺岡 徳光	DR 新任 N6-0139	愛媛県今治市
難波 秀樹	DR 留任 M3-0448	岡山県倉敷市	後藤 光成	DR 留任 N7-0006	山形県山形市
川嶋 剛	DR 留任 M4-0034	東京都国立市	田幡 壮	DR 留任 N7-0103	埼玉県朝霞市
林 浩司	DR 留任 M4-0346	栃木県真岡市	大手 有紀	DR 新任 N9-0004	東京都板橋区
山田 美穂	DH 留任 M5-0056	東京都小平市	丸山 修平	DR 留任 N9-0005	埼玉県深谷市
浜端 町子	DH 留任 M5-0057	埼玉県深谷市	島野 圭介	DR 新任 N9-0038	東京都練馬区
田村 恵	DH 留任 M5-0098	東京都小平市	大塚 杏菜	DH 新任 N9-0061	兵庫県神戸市
上田 康弘	DR 留任 M5-0125	埼玉県草加市	大手 一憲	他 新任 N9-0108	東京都板橋区

## ウェビナー報告

ヘルスケアオンラインサロン	2020年19回～21回 2021年22回～25回
Webセミナー	2020年16回 2021年17回～21回

### ヘルスケアオンラインサロン

#### 第19回 2020年12月8日(火)20:30～ 運営：河野(雄) 通販の活用方を教えてください(ホスト：千草隆治)

今回は、通販の利用をぜひ教えてもらおうと参加させていただきました。ホストの千草さんより「コロナ感染対策前はスタッフ任せでしたが、今は消毒、衛生関係が品薄で、院長が率先して値段を比較して購入している。杉山先生からの情報をとでも参考にしている。面白い使い方、便利な使い方があれば、教えてもらいたい」

##### ① 高くなったグローブの対策は？

- ・2020年3月頃まで300円台だったグローブが今は1000円以上。通販の値段は常時チェックしているが、値上げのみ。
- ・NHKニュースセブンでもやっていたが、世界の2/3のグローブ製造がマレーシアで、コロナ禍の影響で工場が潰れたり、天然ゴムが収穫できず、日本がアメリカなどの大国との競争に負けて、輸入が難しくなっているとのこと。グローブ不足第2波がくると予想。
- ・通販のモノタロウやモダンプロを利用。中国の卸し通販 Wish は、質は不安だが、安い。歯科用品として販売しているものはなし。最悪の場合、「利用しなくてはいけない時期がくるのでは？」と思っている。
- ・診療時のアシスタントは100円ショップの100枚入りのビニール手袋使用。しかし、100円ショップは本当に安いのか、という意見あり。
- ・通販のCiメディカルやFEEDで購入。右手はその手袋を使用しているが、左手は素手または、ホームセンターのビニール手袋で診療している。手元が開き、不潔になりやすいので、気をつけなければいけない。
- ・滑りやすさの対策として、S先生が「ズレピタバンド」(キッチンガーデン用。オートクレーブ使用可能。10枚899円)を紹介。しかし、現在は在庫なく、購入できず。
- ・パッケージプラザ シモジマが近くにあり、バキュームやライトの取手にクリスタルバックという透明な袋を患者ごとに利用。弁当の使い捨てソース容器の蓋とケースをエッチング、ボンディング剤など使い捨て容器として使用。200枚入りビニール手袋は200円弱。(筆者は左手にズレないように輪ゴム3本繋げて

ビニール手袋を覆い、使用中。)

##### ② グローブ以外の通販活用

- ・JPメタル：買取り中心だが、販売あり。毎日金パラの値段が連絡あり、キャストウエル(12/8現在8万円弱)もあり。Ciメディカルより安い。
- ・コロナ患者の濃厚接触者の診療をする場合は、N95マスク使用が必須になるという話を聞いて、N95マスクを関税は高いが台湾から輸入している。
- ・石膏はPDR社製品が良い。精度は良で、まとめ買いができて、送付日が指定できる。
- ・FEEDがスクラブ3枚799円で販売すること、たまにあり。
- ・Twitterで「予防歯科仮面・鬼滅の予防歯科」がめちゃくちゃわかりやすい。
- ・チタンクラウンや前歯CAD/CAMの経験談  
など、興味深い話題で盛り上がり、日本ヘルスケア歯科学会会員で本当によかったァ、と実感したサロンでした。

(報告：安田直美・クリスタル歯科)

#### 第20回 2020年12月15日(火)20:30～ 運営：曾野

#### 「クインテッセンス」初代編集長の秋元さんに歯科の歴史を聞いてみよう。パート1(ホスト：高橋啓)

ゲストの秋元さんが最初に紹介したエピソードは、診療室に予防歯科を導入する最初のエポックメイキングな出来事、1988年のアクセルソン教授の招聘講演ですが、このプランに誰が協力し、誰が協力を拒んだかという話題から、いきなり核心的な議論に入りました。次から次へとオフレコ続出で、結局だれも報告役には手を挙げてくれませんでした。したがって、このオンラインサロンは秘密会。ご興味のある方は、続編があるそうですから、ウォッチしておいてください。

#### 第21回 2020年12月22日(火)20:30～ 運営：田中(勝)

#### リモートで忘年会をやりましょう！ベテランもルーキーもスタッフさんもOKです(ホスト：丸山和久)

コロナ禍のなかでまったく日ヘル仲間と直接会えない1年を過ごし、年末くらい久しぶりの面々や新しい仲間の顔を見たくてリモート忘年会に参加しました。

リモート飲み会なるものに初めて参加したので、どのように進行するのかと思っていましたが、ホストの丸山さんから各自の近況報告とコロナ関連の話を順番にしていこうという提案があり、忘年会は始まりました。多方面でこのようなりモート会議があたりまえになってきた昨今は、リアルに会って勉強できない寂しさはありますが、気軽に会議ができる便利さもあって以前にも増して忙しくなっている方がいたり、この機会に自院

のシステムをじっくり変更・改変して、将来につながる感染対策を進めている方がいたり、このような状況下でも前向きな仲間と話ができて、短い時間ではありましたがパワーをもらえました。

日本ヘルスケア歯科学会のいいところである Face to Face の情報交換や意見交換が気楽にできるようになる日はまだ見えてきませんが、きっと来るであろうその日が益々楽しみになるリモート忘年会でした。(報告：大井孝友・おおい歯科)

## 第22回 2021年1月12日(火)20:30～ 運営：田幡 演者の話を鵜呑みにしてませんか？(ホスト：渡辺勝)

文献検索，EBM，英語論文を読む…

こんな言葉に懂れながら、いつまでも行動できない自分に嫌気がさしていましたので、この度いい機会と思い参加してみました。

参加者は20名超と、今回の話題に興味のある方がとても多いことに驚きました。

オンラインサロンはホスト役(今回は渡辺勝さん)がお題を出し、それについてブレイクアウトルームで少人数のディスカッションをし、また集合して出た意見を発表する、という流れで進行していきます。

渡辺さんが早速一つめのお題を出します。

「歯科治療でわからないことにであったとき、どうしていますか？」

書籍を読む、商業誌を読む、セミナーに出る、偉い先生に聞く、友達に聞く… 現在自分はこんな感じですが、「論文を読んで、わかっていること、いないことを明確にする」とか言えたらいいですが…

渡辺さん『論文は効果を誇張して書かれていることも多いし、偉い人が言っていることも間違っていることがたくさんあるはずですよ。そもそも偉い先生ってどういう基準？』

続いて、二つめのお題

「PMTCの効果をどう考えていますか？」

確かに現在PMTCの効果ってどう考えられているのかな？ 20年前と違うのかな？

渡辺さん『ネイチャー誌によると、医学雑誌に書いてあることの7割は再現できないそうです。よって自分で情報を処理して、実際の臨床に生かしていくことが大事なんですよ』

さらに続いて、三つめのお題

「原著論文を読むうえで障害になっていることは何ですか？」

もちろん英語！

渡辺さん『論文を全部読もうとするから、ハードルが高くなります。英語力がなくてもこの方法が有効かを知る方法がありますよ』

最後のお題

「EBM勉強会があったら参加してみたいか？ 参加にあたってどんな心配があるか？」

いろいろ心配事があげられ、初回は2月下旬の平日夜、日本語論文「イソジンのうがいは効果があるか？」の抄読に決定しました。EBM勉強会、参加します！

(報告：中本知之・西すずらん台歯科クリニック)

## 第23回 2021年1月19日(火)20:30～ 運営：古市

### スタッフが辞めない歯科医院とは？ 第2弾

(ホスト：林浩司 ゲスト：沼澤秀之)

今回は、第11回オンラインサロンでゲスト講師、ディスカッション大盛りあがりのため、リクエストにより再び登場。

継承時、スタッフトラブルで、全スタッフ入替。そこからわずか10余年で、ユニット5台から4倍の規模に拡大。

さらに現在都下に5医院の理事長である氏が院長のヘルスケア型歯科医院は、ユニット19台の超大型医院。その秘訣はどこにあるのか？ 沼澤さんに探りました。

レポート報告の前に歯科助手(以下DA)にぜひ読んでいただきたい書籍を紹介いたします。

監修：沼澤秀之／高見由紀恵

「歯科助手お仕事マニュアル」

(ユーキャン)

- ① 最新の情報である(2020年12月25日発刊)
- ② 値段が安い！(270頁で2,090円)
- ③ DAの視点で書かれていて読みやすい(イラスト、写真が多い)

あめみや歯科医院でも使用しています！(評判はいいです) 沼澤氏は言う。

医院を円滑に運営するには、全員が全員のタイプを知っている必要がある。もちろん、自分自身を知ることも重要である。そのために、氏の医院ではコーチングで使われている、タイプ分け診断を用いている(アナライザー、コントローラー、サポーター、プロモーター)。

スタッフにはサポーターが多い。採用時にチェックする。いい子がいて、サポーターなら即採用するが、コントローラーには気をつけている。

そしてここで大事なのが「ぺこぼの定理」(漫才師)。すなわち、すべてを肯定することをできることが重要！スタッフとのコミュニケーションがうまく取れないとき、「だってタイプ別でいうと～だもんね」と、常に肯定することである！

最後に、院長の使命は環境を整えること。

歯科衛生士(DH)はDH業務に専念する。アシスト、消毒、



滅菌はしない。ドクターのアシストはDAの仕事と決めている！すると、DHはDAに業務内容を聞く。これにより、DAに誇りを持たせている。

DHは辞めないが、DAが辞めるのは？もっとよい違う職場があるから。

DAの仕事のライバルは、他院ではなく、他の仕事である。

DAが退職するのは、よりよい環境の他の職種があるからである。以上、今後の医院運営について貴重な話が聞け、即実行できる内容だった。(報告：雨宮博志・あめみや歯科医院)

## 第24回 2021年1月26日(火)20:30～ 運営：寺岡

### 「動画コンテンツの活用」について話そう！

(ホスト：中本知久 ゲスト：安岡大介)

今回は中本知之さんがホストを務め、「動画コンテンツの活用」について話そう！というテーマで行われました。

まず参加者を2チームのブレイクアウトルームに分け、それ

ぞれの医院の取り組みについて話し合いました。私のグループでは後藤光成さんを筆頭に活用できていない話ばかりでしたが、興味深かったのは事務局の秋元さんが昔動画コンテンツを作っていたことです。秋元さんが動画を作っていた当時はものすごい労力がかかったそうで、そのトラウマがあり今でも動画作りは難しいもの、重いもの、と思い込んでいてそのイメージを払拭するため参加されたそうです。

ブレイクアウトルームの後は兵庫県加東市のミライノデンタルクリニック安岡大介さんから、動画の活用法、作成法などが紹介されました。今乗りに乗っている安岡さんは、スライド作りも得意ですが動画も編集ソフトを使いこなすサクサク作ってしまう若手歯科医師です。次に愛媛県今治市の寺岡徳光さんから、こぐま歯科の取り組みが紹介されました。寺岡さんはヘルスケア歯科学会に入会してそんなに経っていませんがベテラン感が半端ない期待の星で、K-waveとITSで取り合いになっている若手歯科医師です。

2回目のブレイクアウトルームではヘルスケア学会として動

## 2021年3月からオンラインサロンが生まれ変わります

■ 2020年7月よりスタートしました、オンラインサロン(Zoomミーティング)。参加したことのある方、ニュースレターなどでは存在は知っているけど、オンラインには一歩踏み出せない方、色々だったと思います。

この度2021年3月より、新しい試みが始まります。コアメンバーの生の声・現状・実情など「オンライン」ですが、より「リアル」な話が聞ける・話せる場になるよう企画し

■ 今まで、ホストを務めてくださった方々、サポートの方々、ありがとうございます。皆様のおかげでコロナ禍においても会員同士の交流もわずかとはいえ、繋ぐことができました。私自身も、この場で初めてお会いする方もたくさんいらっしゃり、ありがたい機会を設けさせていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

今までは毎週ホストが変わって、テーマもホストが事前に決めていました。事前の申し込みも必要でした。今後は特に事前にテーマを設けません。基本的には、高橋さんと渡辺が一カ月間の間にあったことを雑談していきます。私たちは、目指すところ、基本となる考え方は一緒ですが、得意な分野、地域差が大きく、お互いから学ぶことも多々あり、個人的なやりとりもよく行っています。また、お互い、会員内外からの日々の質問も多いので、それらも絡めてお話しできればと考えています。ヘルスケア歯科診療に

ていきますので、ご期待ください。

現在毎週開催しているオンラインサロンは、コロナ禍の情報交換を目的に開催してきました。

現在のコアメンバーを中心としたホスト役が二周りする2月2日(火)の開催をもって、毎週の開催は終了になります。その後は、別の企画を開催していくことになります。

(高橋啓)

まつわる話がメインになりますが、ヘルスケア歯科診療とは繋がらないことも話題に上がるかもしれません。(高橋さんが、釣りが得意なこと、渡辺が携帯を持ってないが故に様々な課題を抱えていることなど、皆さんの知らない一面が見られるかも?)

コアメンバーの二人が普段どんなことを考えているのか? 診療室内外ではどんなことが起きているのか? 何を話しているのか? 興味がある方は、のぞきにきてください。もちろん、話題提供も大歓迎です。

今後は、同一アドレスで、事前申し込みも不要になります。途中の入退室も、ビデオのオンオフも自由です。二人の雑談に介入したいとき、聞きたいことがあったときも、自由に発言して大丈夫です。いえ、むしろ積極的に絡んでください。飲食しながらでも大丈夫。皆様の参加をお待ちしております。(渡辺勝)

オンラインサロン 毎月第2火曜日 20:30～

【参加方法】 学会ホームページより会員ページへログイン ⇨ オンラインサロン

画コンテンツをどう活かすか、が議題として話し合われました。最後にニュースレターの感想を誰が書くか押しつけあいになりましたが、私が男気をみせて書くことになりました。

1時間という短い時間でしたが動画を活用することは難しいことではなく、簡単に編集できるアプリもあるようなので、自分でも取り組みそうだと感じられるようになったのは収穫でした。安岡さんのスライドにもあったように言葉だけの説明よりも映像があったほうが記憶に残るので、患者さんへ発信していくツールとしてこれから活用できたら、と思います。

(報告：山本修平・やまもと 歯科クリニック)

## 第25回 2021年2月2日(火)20:30～ 運営：山本 新人教育、みんなどうしてる？(ホスト：高木景子)

今回、新人教育についてのサロン開催でした。

私が参加させていただきましては、当院にちょうど今年の4月より新卒衛生士が入社予定となっており、スタッフと今年の新人教育についてミーティングを行っていたところでした。そこで、様々な方々のクリニックでの取り組みをうかがい参考にさせていただければと思い参加させていただきました。

参加されていた方々から様々な取り組みの事例をうかがい、それぞれの取り組みによる悩みなどもうかがうことができ、大変勉強になりました。

まずは、新人の方への教育の方向性として、あり方を伝えていくのが先か、技術的なことを伝えるのが先なのか、意見が分かれるところでした。

ホストをされておられた高木さんからは、たかぎ歯科ではまずはあり方から伝えているとのこと、新人とのコミュニケーションとして、診療後に毎日面談、フィードバックを行い院長自身でフォローするとのことでした。やはりコミュニケーションの時間をしっかりとつことが重要で、その新人の方の持つ悩みや問題にいち早く気づき、解決することが重要であるということを感じました。毎日のバタバタとした診療でコミュニケーションが希薄になってきている私には本当に身にしみる思いでございます。

後は、院内で新人チェックリストを作成し、そのリストにチェックが入っていくことでその方の進行具合、理解度がわかるのお話もありました。そのリストは毎年少しずつでもアップデートすることで、各医院の成長に合わせていくとのことでした。

これら様々な取り組みの一方で、悩むことも出てくるようで、医院継承をされる医院では、既存のスタッフ、新たに加入したスタッフ、双方の方向性の違いで教育を統一することが難しいことがあるようです。

今回、様々なお話をうかがうことができ、大変参考になりま

した。また、実際に新人が入社して教育が進んできた頃に、色々と報告、意見交換ができるような場があればいいと思います。(報告：曾野偉鍊・その歯科クリニック)



## ヘルスケア Web セミナー

### 第16回 2020年12月23日(水)20:30～ 運営：古市

「私たち、定年まで勤務したら退職金はどれくらい貰えるんですか??」歯科衛生士のためのお金の話  
(パネリスト：斉藤仁)

なぜヘルスケアでお金の話? ということで、斉藤さんらしいおもしろそうな切り口の講演と思い参加しました。

まず今回の趣旨として、学術的ではないが歯科衛生士を含めたスタッフ向けのセミナーを実験的に開催し、今後につなげていきたい、また、このテーマは自身の院内ミーティングで好評だったので、みなさんと共有できればとの説明から始まりました。

さて、このようなテーマにした背景です。このコロナ禍の影響で世界的な不況が始まり、歯科界も決して他人事ではありません。ヘルスケア歯科診療は歯科衛生士をはじめスタッフがなければ成り立たない診療体制ですが、この情勢のなかでスタッフの賃金カットや雇い止めがあってはならないことです。しかしメディアを賑わす医療従事者の不安は、我々歯科界でも現実的なことになってきています。

そうしたなかで、経営者やスタッフが「お金」に関する勉強を少しでもして経済的に安心できる職場環境、スタッフの引退後の不安をなくす必要があるのでは? という思いから、1時間のレクチャーが始まりました。

とくに最近話題となった金融庁の「老後2,000万円不足問題」について取り上げ、スタッフ一人ひとりが自力で早い段階から老後のための資産運用について考えて欲しいとのことで、「iDeCo イデコ」と「NISA ニーサ」について解説をいただきました。退職金に関しては大企業とは違い一般歯科診療所では数千万円も支払えないのが現状ですが、少なくとも若い時からスタッフ個人の退職後の資産確保の情報提供をしておくべきだとの考えです。

自分も聞いたことがある「iDeCo」と「NISA」ですが、詳しいお話をいただいたのは初めてのことで大変充実した内容でした。また、当院でもスタッフに情報共有したいと思います。

末筆になりますが、いつも斬新なテーマで講演してくださる斉藤さんと今回の運営メンバーの古市さんには様々なご配慮をいただき感謝を申し上げ、今後のご活躍を期待しています。

(報告：林 浩司・はやし歯科医院)

**第17回 2021年1月13日(水)20:30～ 運営：寺岡**

**カリエスリスクアセスメント標準化の実際 日本発のCRASPで、誰でも、どこでも、いつからでも**  
(パネリスト：中本知之／澤幡佳孝)

今回のオンラインセミナーではCRASP運用に関して、中本知之さんと澤幡佳孝さんに、どう実践的に使いこなすかを講義していただきました。今回のセミナーを聴講してCRASPがいかに簡便に、かつ個々の患者のカリエスリスクを評価することに焦点を当てた非常に有効なツールだということが理解できました。個々の患者のカリエスリスクの把握はヘルスケア型診療において最も重要な要素のひとつだと感じています。しかしすべての患者にリスク検査を行うことは時間・コスト・労力の大きな負担になっていることは確かだと思います。その点新たにカリエスマネジメントのツールとして開発されたこのCRASPは、非常に有効であることは間違いないと思います。

項目をなぞって評価していくため、リスクを評価する側の経験にも左右されず、すべての患者に同じようにリスク評価を行うことができ、さらに項目をすべて埋めなければ評価が成り立たないわけではなく、どの項目を使用するかをカスタマイズすることが可能なため、実施する医院や患者層にも合わせることで、非常にフレキシブルで実践的なツールだと感じました。

澤幡先生のパートでは紙ベースでのCRASPに関して、中本先生のパートではデジタルベースでの管理方法について講演していただきました。それぞれのメリットがあり、紙ベースであれば明日からでも取り掛かることができ、デジタルに疎いスタッフでも簡単に使いこなすことができ、まず導入に際しては紙ベースで試してみるのがよいとのことでした。デジタルベースでは、さらに全体としての統計をとることができ、医院としての方向やどこに力を注ぐべきかの指標にもなると感じました。

省力化・標準化が必須となってきている現代において、このCRASPというツールは歯科医療の精度を上げつつ労働生産性の向上にも大きな助けになるのではないかと感じました。今回のオンラインセミナーを受講して、ヘルスケア型診療が目指す理想への一歩として今後必須のツールになると感じました。

(報告：高野 祐 勤務医・まつもと歯科)

**第18回 2021年1月20日(水)20:30～ 運営：山本**

**カリエスマネジメントセミナー第7回(最終回)**  
(パネリスト：杉山精一)

カリエスマネジメントに関する超臨床的なお話を伺うことができました。今回は最終回ということで名残り惜しくありましたが、大きな期待があり、ワクワクしながら聴講に臨みました。

前歯の平滑面う蝕、エナメル質形成不全(MIH)、根面う蝕に関するマネジメントをテーマに、多くの症例提示と豊富な解説がありました。印象に残ったことを記したいと思います。

平滑面う蝕の症例では、20歳で上顎前歯部の唇側面がcode2からcode3になり、15年後にはポツリポツリとエナメル質の少量の欠損に至ったケースが印象的でした。このケースは多くの白濁部位は改善しているのですが、一部初期段階でエナメル質の脱灰が進行しており最終的に部分的な欠損に至ったとのことでした。また12歳でローリスクの子どもに対照的な症例の提示がありました。上顎前歯のcode1病変がcode0になり、白斑が消失しているケースでした。白斑消失のケースは自院でもときどき散見されますが、このように明瞭に消失しているケースはなく、杉山歯科のレベルの高さを感じました。

プラークがある状態とない状態での口腔内写真撮影、ICDASによるdetectionがまずは基本であり、そのうえで臨床的な対応の精度を高めていきたいと強く思いました。こうした基本的なケースをきちんとこなすことで当院の歯科衛生士も自信を持ってカリエスマネジメントに取り組んでくれることと思います。明日から改善していきたいです。

MIHでは、10症例の提示がありました。10年以上にわたる長期ケースが多く、たいへん見応えがありました。臨床的な対応をしつつも、経過が追える症例提示ができるのは杉山さんならではの感じます。説得力が違いました。MIHに関する参考書籍は極めて少ないため、とても参考になりました。

解説では、MIHが存在している、もしくは存在していた歯は、健康な歯と比較して約10倍治療がなされている可能性があり、早期に永久歯に修復治療がなされているケースではMIHが関連していることがあると示唆されました。自院で振り返ってみると、MIHのケースは確かにそのようなケースがあると感じます。MIHは臨床対応に関する情報が少なく、日々の対応が果たして正しかったかどうか？ 自分の臨床経験と経過が短いため、不安が尽きないのが現状でした。杉山さんの長期ケースを拝見して、明るい展望が得られました。

続けてMIHの解説が続きます。MIHの原因はまだわかっていないものの約10%の発現率で2%は重篤であること、遺伝の要素があるため兄弟間でのチェックが大切であること、対応が後手に回らず治療が最小限の範囲ですむよう、MIHの部位をこまめに経過観察することの意義を改めて感じました。

最後に、根面う蝕のケースではリアルな症例提示がありました。杉山さんでも苦慮された症例提示があり、この疾患の対応の難しさを痛感しました。症例も踏まえ、提示された診療の指針をスタッフと共有し、明日から臨床で取り組んでいきたいと思いました。

症例のなかで、根面う蝕の20年経過症例がありましたが、圧巻でした。定期的な来院で、根面う蝕が徐々に非活動性の病

変になっていく様相は、貴重な資料と思います。『デンタルカリエス』に記載されていた Nyvad の症例に比肩する症例だと感じました。具体的な臨床対応は、F 歯磨剤と F 洗口剤の併用、サホライド塗布は当院でも行っていたのですが、迷いながら対応をしていたのが現実です。

ガイドラインから、F 歯磨剤と F 洗口剤の併用は予防に有効であることを示されていましたので、自信を持って進めていきたいと思います。実際に根面う蝕になった場合には、サホライドだけでなく、グラスアイオノマーと F バーニッシュ併用を検討したいと思います。この方法を根分岐部に適用されていたのは、ブランクコントロールしやすい環境を作るためと再石灰化を期待して実施されたからでしょうか？ そう想像していますが、果たして合っていますでしょうか。

今回のセミナーを通して、カリエスマネジメントに必要な規格口腔内写真撮影、ICDAS による detection、CRASP をはじめ経年的に評価するシステム、これらを長期間継続して院内で実施し、経過観察と振り返ることが肝要であることを再認識しました。

超・超・実践的なセミナーでした。多くの方が本セミナーを受講してう蝕治療に関する共通した指針を持つきっかけができたことと思います。あとは院内で試行錯誤しながら実践するのみです。受講後、カリエスマネジメントに関する情報が整理でき、頭がすっきりしました。受講後この文章を書きながら、心地よくお酒が飲めました。明日の臨床が楽しみになるセミナーだったと思います。素晴らしい機会をくださり、ありがとうございました！

(報告：澤幡佳孝・おひさま歯科クリニック)

### 第19回 2021年1月22日(水)20:00～ 運営：杉山(修)

#### 新しいカリエスリスクマネジメント

#### CRASP Caries Risk Assessment Share with Patient

(パネリスト：杉山精一)

会員以外の参加も可能な杉山さんによる講演会の第一弾です。参加人数は29名で、非会員の参加は9名と約3割でした。

CRASP に関しては会員の人なら一度は耳にしたことがあると思いますが、普段ヘルスケア診療になじみのない非会員の方がどのように受け取られるのだろうかと思いながら参加しました。

まずはカリエスリスクアセスメントとは何かという基本的な問いから始まりました。N. Pitts 先生のカリエスマネジメントの図からも明らかなようにカリエスマネジメントにカリエスリスクアセスメントは必須であり、なおかつ定期的に行われるべきである。またどのようなカリエスリスク検査を用いても構わないということでした。現時点でのスタンダードはないというこ

とです。

ではカリエスリスクアセスメントを用いてリスクをカテゴリ化できるのか？ 実は CRASP では厳密にはハイリスクあるいはローリスクをカテゴリ化していません。赤印が多いことでう蝕を避けるために改善した方がいい習慣について知るところを重要視しています。つまりリスクをカテゴリ化したり、予測したりすることよりも、来院者と一緒に、その人のむし歯になりやすい要因をチェックして、改善策を考え、それを共有(シェア)することを重要視しているのです。

さらに CRASP は簡単、シンプル、安価、信頼性が高い、来院者やその保護者と医療者にとってわかりやすいので、とても使い勝手がいいといった特徴もあります。

その後 CRASP の使用方法についても詳しい解説がなされ、CRASP 体験ワークを通じて実際に使用感を確かめた後、症例解説を通して理解を深めることができました。実際に杉山代表の症例を見て、経年的に診ていくなかでリスクの変化がおき、そこに介入していく臨床の面白さを感じました。

CRASP タブレットについての説明もあり、(CRASP ユーザーマニュアルを参照すると詳しいことが出ています)、最後に Q&A にて終了しました。

アンケートの結果を見ると全員がやや満足または満足という結果で、CRASP 導入を前向きに考えるといった意見もあり、非会員の参加者にも好評であったようです。

(報告：田中勝幸・あおぞらデンタルクリニック)

### 第20回 2021年1月27日(水)20:30～ 運営：曾野

#### 「私たち、定年まで勤務したら退職金はどれくらい貰えるんですか??」歯科衛生士のためのお金の話 part 2

(パネリスト：斉藤 仁)

当院は、ヘルスケアのオンラインセミナーは、ライブ配信ではなく、アーカイブ配信で各自が視聴するようにしています。ヘルスケア歯科学会からアーカイブ配信があるときに、医院の LINE グループに YouTube のアカウントをアップし、それを見てスタッフは各自視聴しています。

今回の斉藤先生のセミナーは、医院スタッフが将来(老後)に備えて、お金のことを考えようというテーマでした。今の日本で非課税になり活用できる仕組みを分かりやすく解説してくれています。具体的な内容としては、「iDeCo」や「NISA」「積立 NISA」の話でした。私は、以前から iDeCo や積立 NISA について興味があり、知りたいなと思っていながらも後回しにしてしまっていた時に院長から今回斉藤先生がお話しして下さるということを知り、とても楽しみにしていました。この動画がきっかけで勉強を始め、まずは積み立て NISA を始めるための準備も始めました。早いうちから運用し、将来に向けて自分

で備えることも大切だと思いました。まだまだ自粛が続く世の中で、家で過ごす時間も増えているこの時に、今後の将来のことも考えて計画を立てようと思うきっかけになった斉藤先生のお話でした。斉藤先生ありがとうございました。また、続きのシリーズもよろしくお祈りします。

(報告：山本瑛子 歯科衛生士・たかはし歯科)

## 第21回 2021年2月3日(水)20:00～ 運営：曾野

「新型タバコ」について医療関係者が知っておくべきこと  
(ゲスト講師：田淵貴大)

わたしが勇者「しかいし」となって、もうずいぶん長く時が流れた。お口の健康を守りぬき、「快適な咀嚼」「自由な会話」「若さと尊厳に満ちた微笑み」の3種の神器をゲットするため、勇者「しかいし」はヘルスケア診療の旅をしている。旅のはじめはひとりだったが、途中で、「しかえいせいし」や「しかじょしゅ」「うけつけ」といったさまざまな仲間たちと出会い、お互いの特技を駆使し助け合いながら力を合わせて旅を続けている。

旅は決して楽なものではなく、多くのモンスターに遭遇する。時には敵に背を向けて「にげる」こともないわけではないが、勇敢に、「たたかう」を繰り返しながら、わたしたちは経験値を獲得し、レベルが上がっていく。

ダンジョンに迷い込み、同じところをぐるぐると回り続けることもある。毒に侵され、歩くたびにダメージを受けている仲間もいる。宝箱だと思って開けたら中からモンスターが現れることもあれば、素敵な鎧だと思って装着したとたん、呪いにかかってしまうこともある。とにかくヘルスケアの旅は波乱万丈も多く、道のりは長く、険しい。

旅の途中で誰もが一度は出遭う手ごわいモンスターがいる。それが「たばこ」だ。「たばこ」は、ステージが進むと、レベ

ルの高い「しんがたたばこ」としてもあらわれるが、そのどちらも、勇者があるレベルまで達してレベルの低い「菌周病」を倒せるようになった頃に出現し始め、我々を苦しめる。これまでの「菌周病」に対する攻撃はあまり有効ではなく、ダメージはあまり与えられない。「たばこ」や「しんがたたばこ」をどう攻略するか、そのためには、これらのモンスターの攻撃パターンをよく知ることである。「たばこ」では目に見えていた「どくのきり」が、「しんがたたばこ」では目に見えないものになり、毒だと気づかずに吸ってしまいやすい。また、一度倒したにもかかわらず、「さいきつえん」という呪文を唱えることにより生き返ることも多い。「たばこ」と「しんがたたばこ」がタッグを組んで攻撃してくることもあるらしい。とても手ごわいが、ヘルスケアの旅では何度も出遭い、何度も倒さなくてはならない最強の敵のひとつである。

……田淵先生のお話は、これまで何度か聞いたことがあるが、いつも新しい情報を交えながら、大切なことを繰り返しわかりやすく話してくださるのでしっかりと身につくと感じる。……

「しかいし」は「しんがたたばこのこうりゃくほう」をおぼえた。レベルが1あがった。

「しかいし」は「しかえいせいし」「しかじょしゅ」「うけつけ」とともに、あらたなもくてきちにむかってあるきはじめて。

「たばこ」と「しんがたたばこ」をどうやって倒すか。「たたかう」「じゅもん」だけではなく、時には「ようすをみる」や「にげる」も使わなければいけない時もある。もちろん仲間の協力も必須。「どうぐ」も必要……。

さあ、どんな装備で臨めばいいのか、具体的にはどうやって倒すのか、実際のところを知りたくありませんか？

3月31日禁煙支援のウェブセミナーあります！ 攻略法、伝授します！（報告：高木景子・たかぎ歯科医院）



## 認定歯科衛生士 更新ポイントについて お知らせ

2021年も新型コロナウイルス感染症予防対策として、リアルでのセミナーが開催できない状況にあります。昨年より引き続き、認定歯科衛生士の更新に関しまして、2020年を含む場合は「5年で70ポイント」から「5年で50ポイント」となっております。

今年度はHCM2021の参加に加え、有料のオンラインセミナーへの参加でポイントが加算されるようになりました。

オンラインセミナー（有料）の受講1回につき「5ポイント」です。

このニュースレターに「認定衛生士資格更新ポイント申告書 2020年」を同封いたしました。対象の方は3月末までにご提出ください。

## 認証ミーティング (第17回 第18回)

2021年4月11日 (第17回) 千里ライフサイエンスセンター (大阪・豊中市) & Zoom

7月11日 (第18回) 千里ライフサイエンスセンター (大阪・豊中市) & Zoom

(※どちらも無料でオンライン視聴可能)

2020年7月から延期された認証審査について、来る4月11日と7月11日の2回に分けて千里ライフサイエンスセンター会場で開催します。新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、一部のプレゼンターはリモートでの発表となり、審査員もリモート参加となる可能性があります。小規模でも会場開催を行う予定です。

会員は、だれでも無料でZoomのオンライン視聴が可能です。視聴ご希望の方は、学会ホームページよりお申込みください (4月開催の申込みは3月19日より受付開始予定)。

認証ミーティングは、認証診療所の実態が総括的に理解できるまたとないチャンスです。Zoomオンライン視聴を申し込まれた方には、同時配信のYouTubeアカウントをお知らせします。スタッフが各々自由にスマホで視聴することが可能になります。

### ■ 認証審査エントリー診療所

#### ○ 4月11日

ほんだ歯科クリニック (兵庫県)  
 おおの歯科医院 (兵庫県)  
 あおぞらデンタルクリニック (神奈川県)  
 フォレスト歯科クリニック (愛媛県)  
 なかお歯科クリニック (愛媛県)  
 きほくの里歯科医院 (愛媛県)

#### ○ 7月11日

すぎ歯科クリニック (兵庫県)  
 くりの木歯科医院 (愛媛県)  
 ノエルクリニック心臓血管外科歯科 (愛媛県)  
 わたしの歯医者さん (埼玉県)

### ■ 外部審査員 次のお二人の参加を予定しています。

安田 京子さん : ささえあい医療人権センター 電話相談員

和田 恵美子さん : 四天王寺大学看護学部看護学科教授 (昨年まで)

### 譲ります / 差し上げます

湯器ちゃん 2個  
 (ミラーを直接お湯につける旧タイプのものです)



ナカニシ バリオス 750 のハンド  
 ピース (ライト無し) 2本



共和医理科 超音波洗浄機 SK190-N  
 1台



いずれも送料着払いで  
 お問い合わせは… 斉藤 (札幌市) hito-4@mse.biglobe.ne.jp まで

# 「人生 100 年時代のカリエスマネジメント」

2021 年 10 月 10 日 (日) 10:00 ~ 16:00

KFC ホール (東京・両国) および Zoom ウェビナー (YouTube 配信あり)

東京都墨田区横網 1-6-1 国際ファッションセンタービル (<https://www.tokyo-kfc.co.jp/>)

カリエスリスク研究で著名なコペンハーゲン大学のトゥエットマン教授を招き、大阪大学の林美加子教授とともに「人生 100 年時代のカリエスマネジメント」をテーマにシンポジウムを開催します。

## プログラム (仮)

### 企画趣旨

杉山 精一 (日本ヘルスケア歯科学会代表 八千代市開業)

### 生涯にわたるカリエスマネジメント ICCMS

林 美加子 (大阪大学大学院歯学研究科 教授)

### カリエスリスクアセスメント 考え方の変遷と今後

Svante Twetman (コペンハーゲン大学 名誉教授)

通訳 石塚 洋一 (東京歯科大学)

### 新しいカリエスリスクアセスメント CRASP

杉山 精一

### カリエスマネジメント長期症例 (小児若年者, 成人, 高齢者)

コアメンバー

### ディスカッション



Svante Twetman (スヴァンテ・トゥエットマン), DDS, PhD, Odont. Dr.

デンマーク・コペンハーゲン大学保健医療科学部カリオロジーおよび小児歯科講座教授を経て現在同大学名誉教授

2010 年 IADR Distinguished Scientist Award 受賞

2011 年 IADR Borrow Award 受賞

スウェーデン王立カロリンスカ大学卒, 同大学歯学部で博士号を取得. 主な研究テーマは, 口腔疾患のリスク評価と予防, 特にフッ化物, 抗菌剤, 糖代替物, プレ・プロバイオティクスに重点を置いた口腔内と微生物の生態に焦点をあてた研究. その研究は大部分が臨床の場で行われている. 先進国だけでなく発展途上国でも世界各地で講演を行い, いくつかの教科書の著者で, 多数の科学論文を発表している.



林 美加子 大阪大学大学院歯学研究科 教授

大阪大学歯学部卒業後, 1994 年から同大歯学部附属病院助手, 2005 年講師, 2011 年准教授を経て, 2012 年より歯学研究科教授 (口腔科学専攻)

2017 年 IADR Innovation of Oral Care Award 受賞

2018 年 一般社団法人 Alliance for a Cavity-Free Future 日本支部設立